

陶地域

陶連合自治会



★活動の概要

第2次地域づくり計画に沿って、ワンランク上を目指す将来像“みんなでつくる住んで誇りに思う陶”の実現に向けて、諸事業の活動をしました。

★交付金額

9,838,000 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	2,457人
世帯数	1,078 世帯
地域の キャッチフレーズ	美しい心ふれ合う陶

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 三世代交流事業

三世代交流「陶小ふれあい広場」は陶小学校の参観日に合わせて開催されます。日頃忙しい地域の方や保護者が小学校に集まり、授業参観後、児童と様々なコーナーでふれあいを深めました。



みんな笑顔で!!



セタかざり



エコバッグ



シャッフルボード



ゆび編み

■ 自主防災対策事業

防災訓練の一環として災害時非常食の炊き出し訓練を、大勢の人が集まる「陶ふれあいまつり」時に実施しました。男性ばかりですが上手にできました。少しではありますが、防災意識を高めることが出来ました。



おいしいよ!!



■ 道路環境美化事業

「陶クリーン作戦」として、草取り・草刈り・ゴミ拾い等の清掃活動を6年前から年4回実施しています。

- ・7月と11月は国道・県道など主幹道路周辺、中央公園など(11月は雨天の為中止)
- ・6月と2月は中学校通学路の草刈り・ゴミ拾い
- ・地区内16集落と25団体から参加、7月は園児から高齢者まで300余名の参加がありました。環境美化だけでなくふれあい、集いの場にもなってます。



■ 活動グループの育成事業

「陶づくりセミナー」から立ち上がった、ふれあい農園クラブは、休耕田を利用して菊や野菜栽培の技術を習得しながら、会員同士の懇親を深めています。「陶ふれあいまつり」ほか、地区内外のイベントに積極的に参加し地域貢献にも取り組んでいます。



■ 文化財保護活動事業

文化財保護活動の一環として国指定史跡「陶陶窯跡」周辺の清掃と案内板を設置し、地域の宝の保護活動に取り組みました。



鑄銭司まちづくり協議会



★活動の概要

安心して暮らせるまちづくりとして、防犯灯の設置などを強化事業として行いました。また、今後のまちづくりにむけて、事業の見直しと強化の推進を行っています。

★交付金額

10,583,500 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	2,750人
世帯数	1,370 世帯
地域の キャッチフレーズ	「住んでよかった これからも住みたい」鑄銭司

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ LED 防犯灯への切替・新設事業

平成25年度の強化重点目標として、「LED防犯灯への切替・新設事業」を行いました。

今年度は、地区内の鑄銭司自治会管理防犯灯を36灯から65灯に増やすことができ、蛍光灯防犯灯であった23灯をすべてLED防犯灯に切替しました。

今回の新設には、LED灯への切り替えにより節電と電気代の節約、農作物への被害が減少できるなどの利点や、光が一方方向のみにしか広がらない弱点などを地区の方々に説明し、理解を得ながらの設置となりました。夜間に帰宅する学生の意見や地区内にある福祉施設などの要望を取り入れ、集落自治会長には設置要望の取りまとめと設置予定場所周辺の関係者に設置の確認と了解を取り付けて頂くなど、多くの方々の協力により多くの防犯灯を設置することができました。

今後も防犯に必要な箇所があれば、設置活動を続けていきます。



山口南支援学校へ行く途中の新設LED防犯灯

■ まちづくり目標具現化検討会の立ち上げ

「鑄銭司まちづくり5か年計画の見直し」として、「鑄銭司まちづくり目標具現化検討会」を立ち上げました。1月25日に第一回目の検討会を行い、その後様々な意見を取り上げるために、第二回目の会ではワークショップ形式にて意見交換を行い、この会と昨年立ち上げた「鑄銭司まちづくり研究会」の各分科会が出てきた意見、自治会の各専門部会からの意見などを参考に、「鑄銭司地区まちづくりアンケート」の作成をすることができました。

このアンケートを、次年度に各家庭へ配布・回収して意見をまとめ、目標具現化検討会で協議し「鑄銭司まちづくり5か年計画」につなげていく予定です。



3月29日に行われた鑄銭司まちづくり具現化検討会ワークショップ。鑄銭司自治会専門部会・まちづくり研究会分科会を8班に分けて意見交換を行いました。

■ 一戸一鉢運動

7月6日(土)あいにくの雨の中、恒例の「一戸一鉢運動」として各戸に花つくりセット(花・プランター・土・肥料)を配布しました。今回の花は銚銭司地区内で栽培された「サルビア」と「ベゴニア」です。この活動は、地域で同じ花を育てることにより、近隣との交流を深め、家庭で楽しみながら出来る地域活動を目的としています。



環境部会員で各集落へそれぞれ配布。その後、各集落自治会にて各戸に配布されました。

■ 丁石地蔵探訪報告

銚銭司地域内に置かれてある「丁石地蔵」について教育民生部会のメンバーが、2年がかりで調査を行い、「周防三十三観音旧二十七番札所丁石地蔵探訪報告」として3月15日発行の銚銭司自治会通信にて報告を行いました。

地域内を散策される方々に活用していただいています。

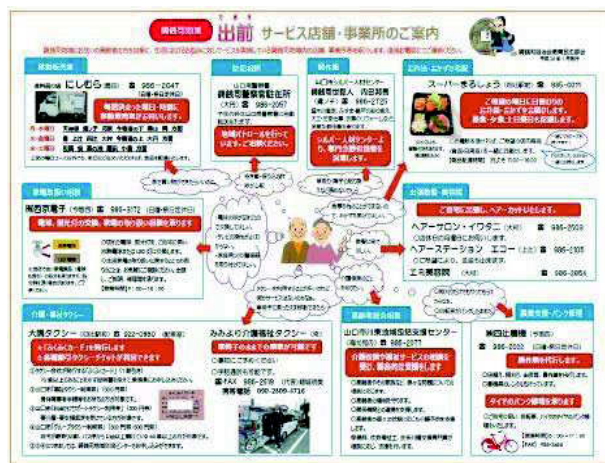


報告書の図解部分です。丁石地蔵の間隔は、直接歩いて確かめられたものです。

■ 便利シートの作成

地域内にお住まいの高齢者の方々を対象にした「出前サービス店舗・事業所のご案内」便利シートを作成し、福祉員さんから必要な方へ渡していただきました。

地区内で受けることのできる出前サービスなど、対象サービス店舗・事業所を簡単に探すことができるように、A3サイズでイラストなどを入れて分かりやすく作りました。



この「便利シート」とは別に「銚銭司の事業所・施設 電話帳」も作成し全戸配布しました。緊急時の備えとして「救急車の呼び方」を掲載しています。

※今後に向けての地域の思い、取組みについて※

「夢とは 新しい現実をつくること

素敵な夢は 素敵な社会をつくる」

- ・山口方式銚銭司自治区の夢姿想像と共有を図る
- ・協働のまちづくり5ヶ年計画の見直し実行
- ・昨年度に引き続き、安心安全のまちづくりに重点的に取り組む

名田島自治会連合会

★活動の概要

【第2次名田島地区 協働・福祉のまちづくり計画】に添った事業を展開しました。

★交付金額

7,756,000 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	1,460人
世帯数	573 世帯
地域の キャッチフレーズ	次世代につながる 『田園都市』の創造

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 300年記念事業

○名田島村が陶村から分離独立して300年経過、このことを記念して、地域の自立の原点を見つめ直すために様々な事業を実施しました。

☆名田島誕生300年記念講演会を実施しました。

☆子や孫に残したい風景100選/絵葉書セットを作成・販売しました。

☆こどもふるさとカルタを復刻しました。

6年生が版画で外箱を作成し、完成したカルタで新春カルタ大会を新校舎で行いました。

※ふるさとを見直す良い機会となり好評でした。



風景100選より
次世代につながる「田園都市」名田島の秋



新春カルタ大会

■ 情報の拡充

○委員会・運営委員会の報告を「自治会連合会だより」として、毎月各戸に配布しました。

○広報紙「田園」を年3回発行しました。

○ホームページの更新に心がけました。

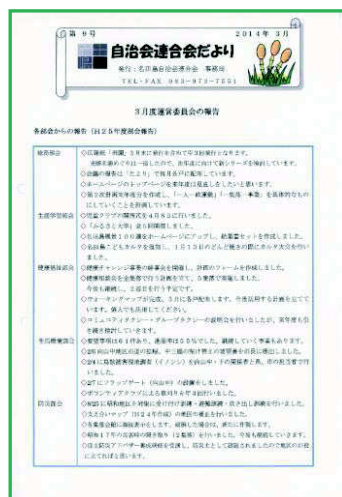
○「第2次名田島地区 協働・福祉のまちづくり計画」に取り組みました。

☆推進本部を立ち上げ年6回会議をし、第1次計画の総括を行った後、平成26年度版を作成しました。

重点事業として「おたのしみ農園への取り組み」・「一集落一事業」・「小学校校庭芝生化への取り組み」を進めていくことを確認しました。

※広報紙「田園」に連載した名勝シリーズは、地元にもこんな史跡名勝があったのかと再確認でき、ウォーキングやサイクリングで巡ってみたいとのことでした。

※重点事業として新たな取り組みに、一致団結の意を固めることができました。



自治会連合会だよりの発行



広報紙「田園」の発行

■ 健康づくり事業

○「健康チャレンジモデル事業」の対象地区に指定され、健康づくりに関する各種事業に取り組みました。

☆地区全体でラジオ体操・ふるさと探訪ウォーキングを楽しみました。

☆子どもたちと夏休みに各集落でラジオ体操をしました。

☆健康相談会を各集落で、開催しました。

☆健康ボウリング教室を開催しました。

☆『食べよう1日5皿の野菜』で料理教室を開き、男性の方の参加もあり、今後も継続することを確認しました。

☆「健康チャレンジニュース」を3回発行しました。

※夏休みのラジオ体操は、こどもや日頃同じ集落でも、なかなか話せない方とも話せ、良い交流の場となりました。

※「健康相談」も地元の集落会館での実施だったため、参加し易く楽しんでもらえました。

※「料理教室」は、男性の方にも野菜の大切さに興味をもっていただけ、好評でした。

全13集落でラジオ体操実施



健康料理教室



■ 安心・安全事業

○安全に通行できるように工事をしました。

☆カーブミラー・防犯灯を設置しました。

☆道路側溝埋設工事をしました。

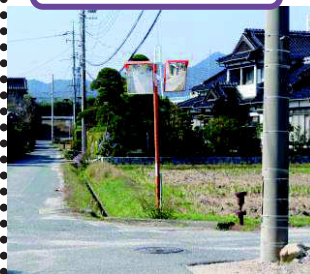
○防災訓練の実施(8月25日)

☆南総合センターを避難場所とする防災訓練を行いました。(情報伝達訓練・避難訓練・炊き出し訓練)

※道路整備により、通行しやすくなり、危険回避にもつながりました。

※防災については、関心が深く、避難訓練にも積極的な協力がありました。

カーブミラー設置



法定外公共物等整備(島上)



要援護者の避難訓練



会館への海拔表示、地域交流センター外柱に海拔スケールを表示

【今後に向けての地域の思い、取り組み】

- 6次産業化の推進 : 一人一畝運動の推進(おたのしみ農園)
- 自治会活動の活発化 : 一集落一事業の推進
- 運動の促進、地域コミュニティの醸成 : 小学校グラウンド芝生化に伴い、各種交流イベントなどの実施

秋穂二島地区連合自治会

★活動の概要

秋穂二島地区では、「HOT 愛を二島」(ほっとあいをふたじま)を理念に掲げ、地域づくりに取り組んでいます。

★交付金額

8, 449, 248 円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	2, 537人
世帯数	1, 080 世帯
地域の キャッチフレーズ	HOT 愛を二島

※数値は、平成26年3月31日現在のもの

■ 二島つどいの広場「あそぼう家」

3年前、地域で子育て支援体制づくりに向け健康福祉部会を中心に9団体でスタートしました。小さな活動から輪になり、中心には子育て中のおかあさん・おとうさんがいる形として平成25年12月3日「あそぼう家」が開設しました。子育てを経験したおかあさんを中心に運営スタッフづくり、関係機関のご指導を受けながら協議を重ね、名称も「親子が気軽に“あそぼうや〜”と声かけられる広場となるようつけられました。ロゴ看板は地域の版画家に依頼、「二島の子育て支援ができるなら」と快く製作していただきました。



「あそぼう家」ロゴ



「ひなまつり」

■ 地域とともにある学校づくり

小さい時から食事を作ることの大切さ・大変さを実感し、親への感謝の気持ちをもち、食事づくりの楽しさを味わうため、二島中学校では、昨年度から地産地消のお弁当作りに取り組んでいます。

食生活改善推進委員さんの協力により、保護者のお弁当作りを含め数回にわたり実施、幼稚園児とも「親子クッキング」を行いました。平成25年11月には、幼小中保護者・地域が参加の講演会を開催、お弁当作りの楽しさを実感しました。将来、一人暮らしとなった時も、自分で食事を作ることができると思います。地域の団体の方からの基本的なマナー等を指導していただき、地域・学校・保護者が一体となり生徒たちと取り組むことにより、いろいろな形で連携が図れると思われます。

生徒と食推のお弁当作り



自分で作ったお弁当



幼稚園の親子クッキング

■ 地域防災活動推進

近年の災害は、想定を超えた規模のものが頻発する中で、自主的に防災組織を立上げ、地域住民が連帯して、防災活動を行う組織づくりが進められています。地区内には4集落で自主防災組織が認定され、他集落でも既存集落の訓練を見学される等検討中です。

当地域の長浜・岩屋地区は、過去何度も災害に見舞われており、連絡が出来なくなることもあったことから異常時に備えてデジタル無線機を各集落に配備し、通話訓練等を行い災害の発生が予測されるとき等に活用できるようにしました。昨年立ち上げた防災活動推進協議会では、防災に関する研修、集落の防災訓練の支援等を行い、防災組織の強化を図っています。

市防災危機管理課による研修



無線の通話訓練



グループ討議



集落自治会の炊き出し訓練

■ 地産地消 B 級グルメ審査会開催

今年で4回目を迎えたB級グルメ審査会は、作ってみよう「お・も・て・な・し鍋」を仲良しグループ・職場の仲間・家族・一人でも参加して一緒に考え、作ろうと募集したところ、中学生は仲良しグループ3チーム、先生チームも含め8チームの参加があり、地元の野菜・魚等を使って、おいしそうな料理ができました。事前に練習をして参加したグループもあり、みなさん腕を振るって果敢にチャレンジしました。できあがったところで審査がはじまり、出来栄の良さに審査員も苦戦苦闘しながら採点、集計を待ち、どれも甲乙つけがたい内容で、審査に時間がかかり、最優秀賞は地元の職場の仲間と参加した「ともちゃん・くみちゃんズ」で、どのチームも僅差ですばらしいででした。審査員からは「お弁当の日」の成果か、中学生の料理に感心しきりでした。

参加した中学生



おもてなし鍋



今後に向けての地域の思い、取り組み

地域の課題を解決するため、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識により、生活課題に対する活動が各分野で取り組まれています。

二島地区のさらなる活性化を進めて行くため、平成26年度から5カ年の「秋穂二島地区地域づくり・福祉活動計画」により取り組んでまいります。